

| | | | |
|--|------------|---|------------|
| 会社名: 株式会社 ホリケン | | | |
| 第163回 ホリケン勉強会・安全衛生協議会 | | 議事録 | |
| 実施年月日 | 2026年1月10日 | 議事録作成者 | [REDACTED] |
| 責任者 | 柴 晴樹 | 出席者 | 別紙参照 |
| 1 石澤部長様講和 7:00~8:00 "皆様に知っておいていただきたいこと" 01 経験から学んだこと【死亡災害、重篤災害が及ぼす影響について】 02 リスクを見越す【危険予知、回避の具体的な行動について】 03 建設業の特性【建設業におけるお客様の満足とは】 04 人間の特性【人間の心の弱さについて】 05 改めて考えてほしいこと【今一度安全活動とは何かを考える】 | | <p>ことも大切である、とお話しいただきました。</p> <p>その意識を持ったうえで、今この行動で、この計画で、この判断でどんなリスクがあり、またトラブルが発生してしまった時の対処をあらかじめ考えて置くことが大切です、とありました。</p> <p>また、リスクに備える上で大切なことは当事者意識を持つことである、とお話し頂きました。当事者意識とは、自らを主人公として考え、行動することで、それを持つことで『責任感を持つ』『リスクに気づく』『相手のことを考える』『報告が早くなる』『成長が早くなる』ことにつながるとありました。</p> | |
| 2 01 経験から学んだこと【死亡災害、重篤災害が及ぼす影響について】 死亡事故、重篤災害は、『仲間』、『雇用主・事業主』、『家族』、『被災者本人』それぞれに大きな影響を与える。 その影響の深さと、広がりを体験をもとに教えていただき、また、 そのことを理解することが安全へ真摯に向き合う第一歩であると お話ありました。 そのうえで、災害によりお客様に対しても、信頼を喪失させることを 改めて意識してほしいです、とお話いただきました。 | | <p>03 建設業の特性【建設業におけるお客様の満足とは】</p> <p>当たり前のことを、当たり前に見えることの大切さを教えていただきました。</p> <p>建設業は、今ないものの対価に金銭を頂く仕事であり、そのためには「〇〇さんなら大丈夫でしょう」というイメージにこたえる必要がある仕事だということを改めて認識する必要があるとありました。</p> <p>また、そのようなイメージにこたえるために、誰が担当でも同じ高水準な結果・品質を実現する必要があり、その意識を一人一人がそれぞれ持つことが大切である、とお話しいただきました。</p> | |
| 02 リスクを見越す【危険予知、回避の具体的な行動について】 事故のリスクがゼロの事業所はないことを教えていただきました。 災害が発生していないことはよいことではあるが、一方で、 事故のリスクがゼロではない状況で、災害がない状況が続いている ということは災害の確率が積み重なっているのだ、という意識をもつ | | <p>04 人間の特性【人間の心の弱さについて】</p> <p>車が通らない横断歩道で、一人でいたら信号を守ることができるか？</p> <p>このことは現場においても置き換えられるとあり、当たり前のことを当たり前に行うことの難しさに関してお話いただきました。</p> | |

| | | | |
|---|------------|--|------------|
| 会社名: 株式会社 ホリケン | | | |
| 第163回 ホリケン勉強会・安全衛生協議会 | | 議事録 | |
| 実施年月日 | 2026年1月10日 | 議事録作成者 | [REDACTED] |
| 責任者 | 柴 晴樹 | 出席者 | 別紙参照 |
| 05 改めて考えてほしいこと【今一度安全活動とは何かを考える】 【当事者意識】、【リスクを予見する】、【お客様第一】、【品質への誇り】、 【人間の理解】、これらを持つことで初めて本当の意味で安全とは 何かということと真摯に向き合っていることになる、と教えていただきました。 また、安全とはすべての基盤であり、安全があつてこそ、 【お客様に喜んでいただける】、【品質の高い仕事ができる】、【仲間 とともに成長できる】、【家族を安心させられる】、【誇りをもって働く】 これらを達成できることを改めて意識してほしい、とお話しをいただきました。 | | <p>この、怖いという意識を忘れずに、安全活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日の自分の行動をシミュレーションして、どんなリスクがあるか考えることで安全に対する意識が高くなると教えていただきました。取り入れ、周りにも伝えていければと思います。 ・事故が、被災者だけではなく、お客様にも大きな迷惑をかけてしまうことを改めて意識しました。信頼を取り返すことは大変なことだと思います。 まずは、事故を起こさないことを、また万が一起こしてしまった時の対処方法をあらかじめ意識することの大切さを勉強しました。 <p>以上の意見がありました。</p> | |
| 3 地域ごとのグループディスカッション 石澤部長のご講和をいただき、そのことに対して各地域ごとに 集まり話し合い、発表を行いました。 | | 4 QRコードシステムについて 今後、改修工事の現場において、QRコードシステムを使用する。 作成は各自で実施することとし、QRコードの現場作成、看板のデザイン作成 、看板作成を行うこと。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・安全を意識するうえで、当事者意識を持つことで、安全に対する見え方、考え方方が変わりました。 ・(信号の例を受け)自分の中にも近道行動をとってしまう意識があることに気づきました。気づいたうえで、安全を管理することでより細かいところに気づけると感じました。 ・重篤災害がいろいろな方の未来に影響してしまうことを改めて考えて怖くなりました。 | | | |

参加者氏名は、個人情報につき非表示とさせていただきます。

出席者名簿

| | |
|--------|------------|
| 実施年月日 | 2026年1月10日 |
| 実施会社名 | 株式会社 ホリケン |
| 責任者 | 柴 晴樹 |
| 議事録作成者 | [REDACTED] |

| NO. | 会社名 | 参加者名 |
|-----|-----|------|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | | |
| 12 | | |
| 13 | | |
| 14 | | |
| 15 | | |
| 16 | | |
| 17 | | |
| 18 | | |
| 19 | | |
| 20 | | |
| 21 | | |
| 22 | | |
| 23 | | |
| 24 | | |
| 25 | | |
| 26 | | |
| 27 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |